

月曜日

18

きょうのみことば

出 21:1~11

あなたが彼らの前に
立てる定めは次の
とおりである。(1)

じゅうよう 重要なことを知らなくて どれい 奴隷になりました

たくさんを知っていても、本当に重要な事実を知らないなら、決定的な瞬間に失敗してしまいます。イスラエルは神様の多くの祝福と重要な契約を受けた国でした。しかし、なぜエジプトの奴隷になって、バビロンの捕虜になって、ローマの属国になったのでしょうか。

1. げんざい どれい になった りゆう 現在に奴隷になった理由

イスラエルがエジプトの奴隷になった理由は、福音(契約)と伝道と宣教を正しく知らなかったからです。エジプトは福音を伝えなければならない国でした。しかし、イスラエルは、重要な理由をのがしたので、奴隷になってしまったのです

2. みらい どれい になる りゆう 未来に奴隷になる理由

悪魔はしばしば問題をあたえて、福音をのがすようにさせます。または良いものをずっとあたえて、福音をのがすようにさせます。イスラエルは、悪魔のこの2つの戦略にいつもだまされました。問題が来たら心配してしまって福音をのがして、良いことがきたら高慢になって福音をのがしたのでした。

3. ただ福音

福音をのがせば、イスラエルようになります。しかし、神様はそのたびにレムナントを立てて福音を回復して、国と民族を生かされました。みなさん、聖書はただ福音(キリスト)だけを強調しています。聖書を正しく知って、福音をしっかりとにぎって、イスラエルと同じ失敗をしないようにしましょう。

イスラエルは福音をのがして、苦しむようになりました。神様、私に恵みをあたえてくださって、福音をもっと深く知って、悟るようになさってください。問題に出会ったり、良いことがあっても、福音をのがさないで、主とともにいる祝福を味わわせてください。イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン

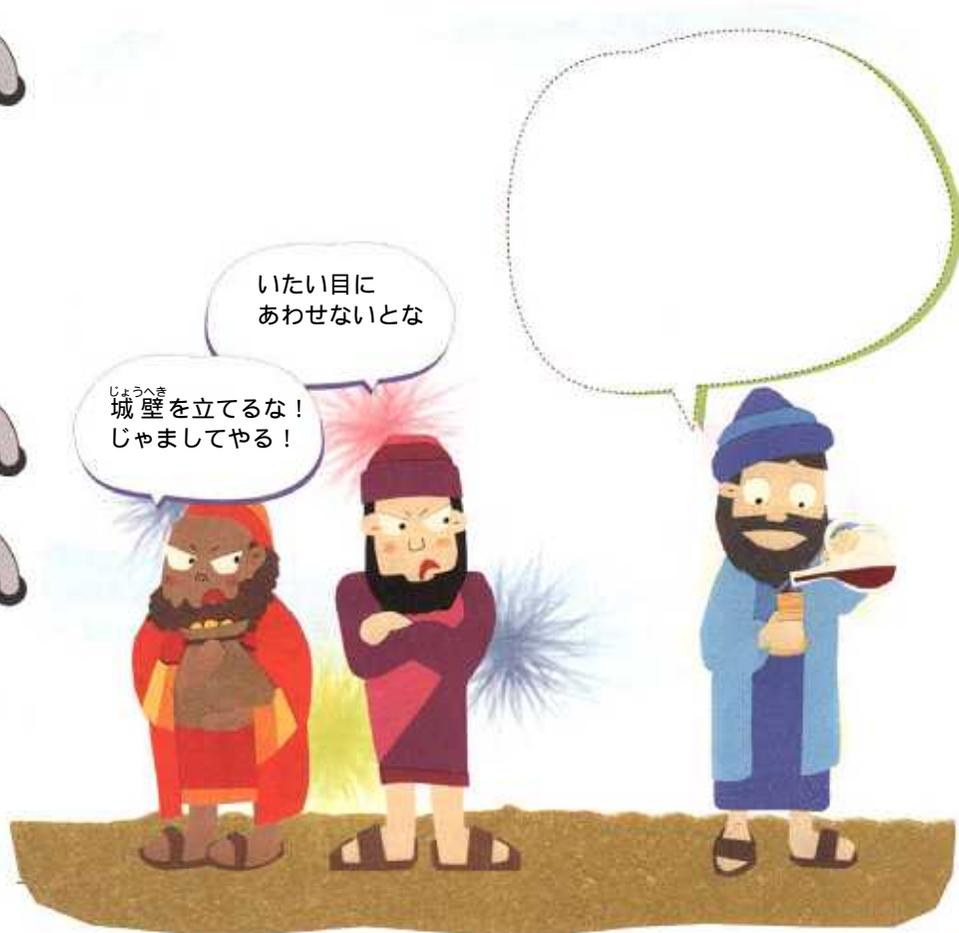


定刻祈りの点検：昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈りましょう

じょうへき けんちく
城壁の建築を

さまたげる人たち

トビヤとサヌバラテは、ネヘミヤがエルサレムの城壁を立てていることに反対しました。サヌバラテの場合は、ネヘミヤを殺そうとまでしました。レムナントが、ネヘミヤならば、このような状況で、どうしますか。ネヘミヤが言う言葉を考えて、書いてみましょう。



神様のあわれみをうけた レムナント

火曜日

19

きょうのみことば

ローマ 11:31~36

なぜなら、神は、すべての人をあわれもうとして、すべての人を不従順のうちに関じ込められたからです。(32)

アフリカのある貧しい国では、150円があれば、一つの家族が一週間、食べて暮らすことができます。しかし、そのお金がないので、飢え死にしているのです。霊的にも同じです。福音を知らない多くの人は、苦しみの中で生きて死んでいっているのです。

1. 神様はあわれみ深いお方です

神様をこわい方だと思っている人たちがいます。まちがったことをするか、しないかを見守っていて、失敗でもすれば「こいつ!」と言いながらこらしめる方だと思っています。神様はそのような方ではありません。神様は愛です。あわれみをあたえてくださる方です。肉体の問題、精神問題、災いの中にいる私たちを救い出すために、キリスト・イエスを送られた方です。

2. 神様があたえられたあわれみは何ですか

大きく2つのあわれみをあたえてくださいました。最初に、キリストを送ってくださって、悪魔の手の中から救い出してくださいました。二つ目は、救われた者の心の中に聖霊とともにいて働いてくださいます。それで、神様の子どもが行く所ごとに、天の軍隊が働いて、悪魔の力がくずれずれます。

3. 神様のあわれみをおぼえましょう

問題があれば、くらい思いと心配でいっぱいになるのでしょうか。レムナントのみなさんは、神様の子どもです。神様は子どもにあわれみをあたえてくださいます。みなさんがあわれみで力を受けて、福音を知らないお友だちに神様のあわれみを伝えることを望んでおられます。

あわれみの神様、私に毎日、新しい力を増し加えてください。そして、福音を知らない友だちに神様のあわれみを紹介することができるように、恵みをそいでください。あわれみをあたえてくださる神様に感謝して、イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

※定刻祈りの点検：昼12時 教会のために祈りましょう。夜9時 RUTCのために祈りましょう



Who am I?

わたし
私はだれでしょう？

I was conceived by the Holy Spirit. 私は聖霊によって身ごもりました。

I came to this world according to the scriptures.

わたしは、聖書に記録されたとおりに、この世に来ました。

The day I was born, **three** wise magi came to see me.

私が生まれた日、三人の東方の博士が私に会いに来ました。

They came to Bethlehem guided by a **star**.

彼らは、星に導かれてベツレヘムに来ました。

As I **lay** in the manger, they came to me, bowed and worshiped me.

彼らは、かいたおけに寝かされていた私にきて礼拝しました。

They opened their treasure chests and gave me gold, frankincense and myrrh.

宝の箱を開けて、黄金、乳香、没薬をくれました。

A long time later, I died on the **cross**.

のちに、私は十字架で死にました。

But, I rose again after three days.

しかし、三日後によみがえりました。

I am the Christ that did the work of the **priest, prophet** and **king**.

わたしは祭司、預言者、王の役割をするキリストです。

だれだか分かるでしょう。

わたし
私はイエス・キリスト
(Jesus Christ) です



水曜日
20

きょうのみことば

使徒 16:16 ~ 18

幾日もこんなことをするので、
困り果てたパウロは、
振り返ってその霊に、
「イエス・キリストの
御名によって命じる。
この女から出て行け。」と
言った。すると即座に、
霊は出て行った。(18)

神様のみことばは じょうじゅ かならず成就します！

パウロが2回目の伝道旅行に出発したときのことで、主人の占いをする悪霊につかれた女奴隷が、パウロの伝道チームを見て、ついてきて大きな声で呼びました。「いと高き神様のしもべたちです！この人たちは、あなたがたに救いの道を伝えているのです！」女奴隷は、何日も続けてこのように言いました。

1. 成就するみことば

がまんできなくなったパウロは、ふりかえって、その悪霊にみことばを宣言しました。「イエス・キリストの御名によって命じる。この女から出て行け」とすると、悪霊がすぐに離れてしまいました。神様のみことばは、このようにならず成就します。神様は、いつもみことばをくださって、時刻表になれば、かならずそのみことばをなしとげてくださいます。

2. 伝道キャンプ時代の主人公

神様はイザヤ6章13節に、レムナントに対するみことばを宣言されました。レムナントをパウロのように、伝道キャンプ時代の主人公として呼ばれました。神様は、レムナントに向かって王である祭司、聖なる国民、暗やみから呼び出された、神様の驚くべき光の中に入るようにされた、その方のすばらしいみわざを宣べ伝える者だとおっしゃられました。神様のみことばは、どうなると言われているのでしょうか。かならず成就すると言われているでしょう。神様は、レムナントに主的・祭司的・預言者の權威をあたえてくださって、現場で勝利するようにしてください。

すばらしい神様、私を伝道キャンプ時代の主人公として呼んでくださって、ありがとうございます。王・祭司、預言者の權威をもって、現場で福音を味わって、神様の時刻表を待ち望む伝道弟子にならせてください。みことばをなしとげられるイエス様のお名前によってお祈りもします。アーメン

✪ 定刻祈りの点検：昼12時 教会のために祈りましょう。夜9時 RUTCのために祈りましょう

でんどう じだい しゅじんこう 伝道キャンプ時代の主人公

レムナントは伝道キャンプ時代の主人公と呼ばれました。どんな主人公と呼ばれたのでしょうか。サタンを打ちくだく王、災いをふせぐ祭司、神様に会うようにさせる預言者の祝福の主人公と呼ばれました。この事実を忘れないようにペテロの手紙第一2章9節のみことばを岩に書きましょう。

しかし、あなたがたは、選ばれた種族、王である祭司、聖なる国民、神の所有とされた民です。それは、あなたがたを、やみの中から、ご自分の驚くべき光の中に招いてくださった方のすばらしいみわざを、あなたがたが宣べ伝えるためなのです。(ペテロの手紙第一2章9節)

岩に書いてね



木曜日

21

きょうのみことば

使徒 13:1 ~ 12

彼らが主を礼拝し、断食を
 していると、聖霊が、
 「バルナバとサウロを
 わたしのために聖別して、
 わたしが召した任務に
 つかせなさい。」と言われた。
 そこで彼らは、断食と
 祈りをして、ふたりの上に
 手を置いてから、送り出した。
 (2-3)

わたし 私はだれ？

ひとりで部屋の中にいるとき、どんなことを考えますか。ひとり
 でいる時間を、どんなふうにご過ごしていますか。ひとりでいると
 きの私の姿、私の考え、私の行動が、他の人が知らない本当
 の私の姿です。

1. 私は王、祭司、預言者です

ひとりである時、ゲームのことだけを考えていますか。好きな友
 だちのことだけを考えていますか。レムナントのみなさん、ひと
 りである時、本当に「私」を見つけなければなりません。レムナ
 ントは、1ペテロ2章9節に出ている、そのような人なのです。サ
 タンの権威を破る主的権威を持った人です。災いを防ぐ祭司的
 権威を持っている人です。未信者が神様に会えるように手助けす
 る預言者的権威を持っている人です。このような権威を持った
 「私」を、頭でだけ分かるのではなく、本当に心で知って、味わ
 わなければなりません。

2. 私は生かす人です

ひとりだけが聖霊に満たされれば、家庭が生き返ります。ひとり
 だけが、教会のために祈れば、教会が生き返ります。ひとりだけ
 が、地域現場を置いて祈れば、教会の内と外で多くの弟子が立て
 られます。ひとりを通して、国と世界が生かされます。そのひと
 りが「私」です。それがまさにレムナントのプライドなのです。

神様、ダビデのように、ひとりであるときに祈りで神様と深く対話をする恵みをあたえてください。
 そして、私がだれなのか、どんな存在なのかを悟らせてください。主的信仰で、私と家庭と教会と
 国を生かすように導いてくださるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

✪ 定刻祈りの点検：昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈りましょう



「あっ、靴が今、水の上を……」

ペテロはぎくっとして、こわくなりました。その瞬間、ペテロは、水に沈みはじめました。

「たすけてください、イエス様!」

イエス様はすぐに手を差し出して、ペテロをつかんでくださいました。

「信仰が薄い人だな。なぜ疑うのか!」

イエス様はペテロにおっしゃいました。

ペテロとイエス様が船の中に入ったら、風は静かになりました。

シムナントのみなさんにも、ビュービュー

荒々しい風のような問題が来ることがあります。そのとき、ペテロのように

信仰がなくて、その問題に沈んで

いくことはないようにしましょう。

すべての問題の解決者である

イエス様をかたくにぎって、

勝利しましょう。

水の上を歩かれたイエス様

「ガリラヤ湖の向い側のカペナウムに先に行っていないかい」

イエス様が弟子たちにおっしゃいました。

弟子たちはイエス様のみことばに

従って、ガリラヤ湖を渡る船に

乗りました。弟子たちが船に

乗ったあと、イエス様は

自分のまわりに乗まって

いた人たちを返され

ました。そして、

山の上にあがって、

夕方になるまで、

ひとりて祈られました。



弟子たちが乗った船は、ガリラヤ湖の向かい側のカペナウムに向かって行きました。ところが、突然、強風が吹いて波が荒れ始めました。

「ああ、大変なことになったよ。大変なことになった。」

波がますます荒れていく!!

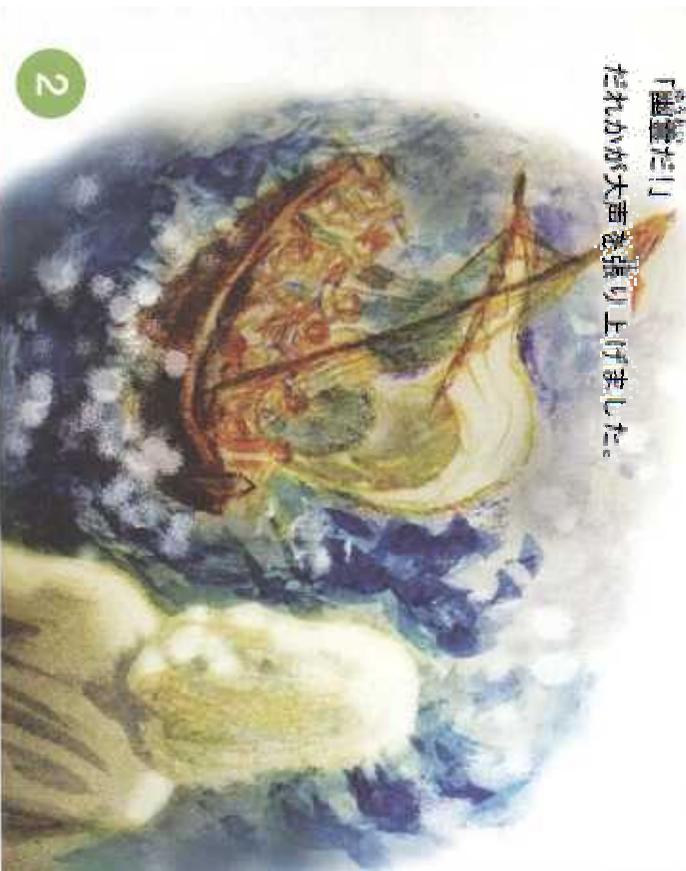
「おい、あそこを見る! 水の上に人が歩いてきている!」

「なんだって。どこだ? どこ?」

弟子たちは水の上を歩いてくる人を見たので、あわてふためいてしまいました。

「騒ぎだ!」

だれかが大声を張り上げました。



2

「安心しなさい! わたしだ!

怒れることはない!」

イエス様が水の上を踏んで来ながら、弟子たちにお話しやいました。

「本当にイエス様ですか? それでは

私に水の上を歩いてきなさいと言ってください!」

ペテロがイエス様に言いました。

「素なさい!」

イエス様が言われました。

ペテロは、喜んで船から

おりて水の上を歩いて

イエス様のところに行きました。

ピエーピエー

ところが、急に

強い風が吹いたので。



3

金曜日

21

きょうのみことば

使徒 11:25～26

バルナバはサウロを捜しに
タルソへ行き、彼に会って、
アンテオケに連れて来た。
そして、まる一年の間、
彼らは教会に集まり、
大ぜいの人たちを教えた。
弟子たちは、アンテオケで
初めて、キリスト者と
呼ばれるようになった。

せいれい みちび う 聖霊の導きを受ける人

はじめて行く道を行くとき、ナビゲーションをつけて行くと、心配することはありません。ナビゲーションが、道をみな案内するからです。ところで、明日の午後4時、どんなことが起きるのかを前もって知っている人はいますか。

この世の明日の午後4時にどんなことが起きるのか知っている人はだれもいません。20年後、私がどんな大人になっているかもまったくわかりません。

初代教会を迫害したパウロも同じでした。伝道者になるとは夢にも思っていませんでした。

ある日、パウロはダマスコでイエス様に会いました。アナニヤとバルナバを通して、福音を味わうようになりました。パウロがかしこくて良い家系の人だから、こういう祝福を受けたのでしょうか。ちがいます。世界の基の置かれる前から予定された神様の計画によって、聖霊の導きを受けただけです。

聖霊の導きを受けた人々には、共通の特徴があります。みんなひとりで「神様との深い出会い」を持ちました。神様との深い出会いがとは何でしょうか。それが祈りの時間なのです。

聖霊の導きを受ける人々は、みんなひとりでいる時間に神様と深い祈りの時間を持ちました。その時間を通して、神様の計画と神様のみこころを発見して方向を合わせました。

レムナントのみなさん、神様はみなさんに会いたがっておられます。たったの1分でも、ひとりでいる時間に神様と会う祈りの時間を持ってみましょう。

神様、私も聖霊の導きを受けたいです。そして、ひとりでいるとき、神様と出会う時間を持ちたいのに、いつも何かが起きます。1分だけでも祈りの時間を持って、神様の計画とみこころを発見することができるように働いてください。イエスさまのお名前によってお祈りします。アーメン

◎定刻祈りの点検：昼12時 教会のために祈りましょう。夜9時 RUTCのために祈りましょう

23日(土)

わたし
私は **なぜ** こうなの？

「エイタ！今、何時だと思っているの！夜中の3時でしょ！いったい何を考えているの？」

ママは、コンピュータの電源をプチッと切っ、ドアをバンと閉めて出て行った。

「ああ、つかれた」

ぼくは目をこすりながら起きた。いつの間にか朝だった。消えたコンピュータの前で、ぼうって座っていて、寝てしまったようだ。

首を左右に回したところ、首が「ポキポキ」という音がした。

てきとうに顔を洗って、ご飯を食べて、午前にある聖書の学びの集いに参加するために、のそのそと服を着た。そして、とぼとぼと歩いて行ったら聖書の学びの集いをする場所にミサキが到着していた。

「エイタ、なんて顔をしているの？」

ミサキが、目をパチクリさせて聞いた。

「うーん。昨日、夜中までコンピュータゲームをしていて、そのまま寝てしまったんだ。ちょっとだけしようと思ったのに、失敗しちゃった。ママは、ものすごく怒って…こんなこと、もう何回しているか分からない。フー」

ぼくは、尚手で髪の毛をひっぱった。

「私は携帯電話で友だちにメールを送っていたら、電話料金がものすごく多くなって、ママに携帯電話を取り上げられたの。そんなにたくさん送るつもりはなかったのに。そうなってしまったんだ」



◆定刻祈りの点検：

昼 12 時

教会のために祈りましょう。

夜 9 時

RUTC のために祈りましょう

「先生は、あるとき、テレビの前から立ちあがれなかったの。ときどき、夜の 12 時を過ぎることもあったの。ママが見ないようにテレビを消したので、どれくらい怒ったか、とてもいらいらしたの。テレビをたくさん見ないと、いつも決心するのになぜできないのか分からなかったの。でもね、そうではないの。あなたたちは、今、いっしょうけんめいに霊的な戦いをしているところなのよ」

ぼくは頭をあげて先生を見つめた。

「パウロも、あなたたちと同じ悩みをしたのよ。心で神様のみことばにしたがって生きたいと思ったのに、からだがよくできない時があって、とても苦しんだのよ」「ほんとうに？」

「そうなの。私たちは神様の子どもだけれど、あいかわらず罪でいっぱいな世の中に生きているから、多くの問題にぶつかるようになるの。今、だめな私の姿につぶされることなく、みことばをにぎって祈りで霊的な戦いをして勝利しましょう！」

「ほんとうに、勝利することができるの？」

「もちろん！隊長であるイエス様がすでに勝利しておられるから」

「わお！」

ぼくはびっくりした声を出した。そして、心の中で思った。

「今日から、決意だけではなく、祈りで暗やみをくだいて、神様に満たされる力を受けなくちゃ！」

